尽

6画

はらう

おん ジン

くん つくす・つきる・つかす

なりたち 旧字は盡。火が燃えつきる意味の聿と皿との会意形声字で、皿の中の物が〝つきる〟ことを表した字。尽は昼と氷(ミ)との会意字と見ればよい。氷は昼になると溶けてなくなるからである。

いみとじゅくご

▼つきる。

無尽蔵…いくら取っても無くならないこと。用例 無尽蔵の資源。

▼つくす。なくす。全部を出し切る。

尽力…ある限りの力を出すこと。骨を折ること。用例 目標達成に尽力する。

▼全部。すっかり。

尽日…❶一日中。終日。❷月や年の最後の日。

一網打尽…一度網を打って魚を全部とらえること。転じて、悪者などのグループを一度にとらえること。

昼

【2年】

9画

はらう

おん チュウ

くん ひる

なりたち 旧字は晝。筆をとって線を書く、つまり明確にする意味の聿と日とで、日の出から日没までを夜から区切った字。昼は、尺が長さを意味するので、日が地上にある間を表したと考えられる。

いみとじゅくご

▼ひる。ひるま。

昼夜…❶昼と夜。❷昼も夜も。用例 昼夜兼行(昼も夜も休まず行うこと。)

白昼…まひる。用例 白昼夢(真昼に見ている夢で、非現実的な空想のこと。)

▼まひる。正午。

昼食…昼ごはん。

昼下がり…正午少しすぎ。午後二時ごろをいう。

小昼…昼近く、の意味で、朝食と昼食の間にとる軽い食事。

よみかた 昼時・昼寝・昼飯・真昼

大

【1年】

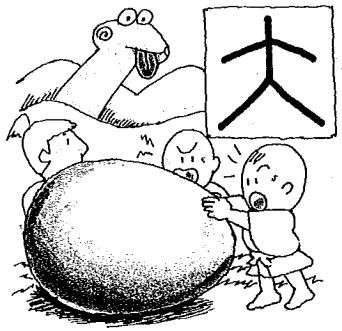
3画

はらう

おん ダイ・タイ

くん おお・おおきい・おおいに

なりたち 人が両手両足を広げた形を表した字で、〝おおきい〟ことを表現した字。こういう構成の字は象形的だが、象形字とはいわず、指事字という。意味が人ではなくて大きい〝事〟を表すからである。



いみとじゅくご

▼おおきい。用例 大空・大地

▼おおい。ゆたか。用例 大量

▼力が強い。用例 大敵・大風

▼重要な。大切な。立派な。

大役…大切な役目。

大成…❶才能をのばして立派に成長すること。❷長い間かかって一つの仕事を仕上げること。❸多くの資料を集めて一つの組織をつくりあげること。用例 集大成

▼いばる。用例 尊大

▼細部にとらわれない全体。用例 大勢

▼最高位。用例 大将・大老

▼他人の尊称。用例 大兄・大人

▼大きさの程度を表す言葉。

卵大…卵の大きさ。

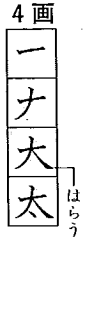
よみかた 大型・大潮・大群・大国・大漁・大学・大名

さんこう 特別なよみかた→大人・大和絵・大和魂

太

【2年】

4画

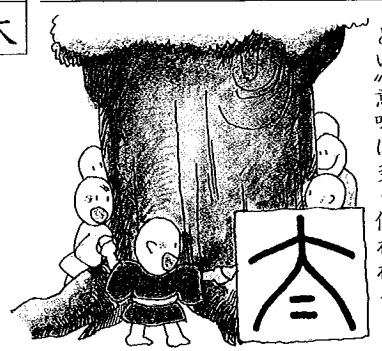


はらう

おん タイ・タ

くん ふとい・ふとる

なりたち 太の、は同じ字を二つ続けて書く場合、下の字を省略する時に使う符号である。つまり、太は〝大大〟という意味の字で、〝大いに大きい〟ことを表した字である。今は〝ふとい〟意味に多く使われる。



いみとじゅくご

▼非常に大きい。

太極…すべてのもののもと。天地がまだ開けていなかった時の状態。

▼非常に。はなはだ。

太古…大昔。歴史として出てこないはるかな昔。

太平…世の中が平和で良く治まっていること。泰平。

▼物のはじめ。おおもと。

太初…天地の開けたはじめ。

▼最も尊いもの。

太子…天皇の位をつぐべき皇子。皇太子。用例 聖徳太子

太后…皇太后の略。天皇の母。または、前の天皇のきさき。

▼ふとる。ふとい。用例 太巻き・肉太・筆太・丸太

よみかた 太鼓・太公望・太平洋・太陽・太っ腹

さんこう 特別なよみかた→太刀